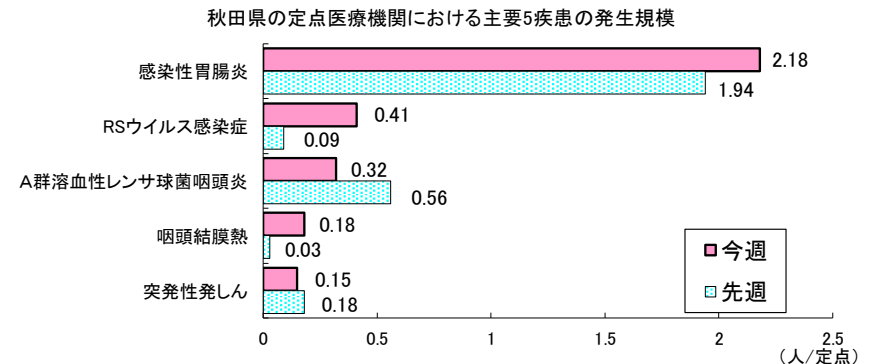




【第13週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で1.1倍に増加しています。保健所別では、秋田市、北秋田、由利本荘、湯沢で増加、大館、大仙で同規模、能代、秋田中央、横手で減少しています。
2. RSウイルス感染症は、県全体で4.6倍に増加しています。保健所別では、秋田市保健所で増加しています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で43%減少しています。保健所別では、大館、北秋田、大仙で増加、秋田市、能代、秋田中央、由利本荘で減少しています。



発生報告

< 5類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減	第12週	第13週	増減			
RSウイルス感染症	0.09	0.41	↗	0.43	2.00	↗																								
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.03	0.18	↗	0.14	0.57	↗													0.25	↗							0.33	↗		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.32	↘	0.86	0.43	↘		0.50	↗		0.50	↗	1.00	0.33	↘	1.50		↘	0.25		↘	0.75	1.00	↗						
感染性胃腸炎	1.94	2.18	↗	4.71	5.14	↗	0.75	0.75		1.00	3.50	↗	0.33		↘	1.75	1.00	↘	3.25	3.50	↗	0.50	0.50		1.00	0.33	↘	0.67	2.33	↗
水痘	0.06	0.03	↘											0.33	↗	0.25		↘	0.25		↘									
手足口病																														
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.18	0.15	↘	0.14	0.14		0.75	0.50	↘	0.50		↘													0.33	↗	0.33	0.33		
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎		0.03	↗					0.25	↗																					
川崎病	0.03		↘																					0.33		↘				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.14		↘	0.33		↘				*	*		*	*		*	*										*	*		
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)	0.13		↘													*	*								1.00		↘			

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。

「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数があったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から11人、能代保健所管内から1人、由利本荘保健所管内から1人、大仙保健所管内から4人、横手保健所管内から1人、報告がありました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	(人)		
		1週-12週 全国	秋田	13週 秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	3409	13	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ			
	細菌性赤痢	4		
	腸管出血性大腸菌感染症	191		
	腸チフス			
	パラチフス			
四類	E型肝炎	143		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	19		
	エキノコックス症	3		
	黄熱			
	オウム病	1		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	2		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	11		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	(人)		
		1週-12週 全国	秋田	13週 秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	61		
	デング熱			
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	6		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症			
	マラリア	3		
	野兔病			
	ライム病	4		
	リッサウイルス感染症			
リフトバレー熱				
類鼻疽				
レジオネラ症	255	3		
レプトスピラ症	2			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメルバ赤痢	124	1	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	45		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	389	5	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	5		
	急性脳炎	74		
	クリプトスポリジウム症	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	33		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	164	1	
	後天性免疫不全症候群	211		
	ジアルジア症	11		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	54	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症			
	侵襲性肺炎球菌感染症	267	4	
	水痘(入院例に限る)	61	1	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	1366	14	
	播種性クリプトコックス症	29		
	破傷風	18		
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	22		
百日咳	149	3		
風しん	5			
麻しん				
薬剤耐性アシネトバクター感染症				
* 新型コロナウイルス感染症		134	18	

* 新型コロナウイルス感染症

トピック

<ウイルスを原因とする感染性胃腸炎について>

例年、冬季はノロウイルスなどのウイルスを原因として感染性胃腸炎が流行します。今冬は、感染性胃腸炎の患者報告数に顕著な増加はみられませんでした(図)、3月以降、県内ではノロウイルスなどによる感染性胃腸炎の集団発生の報告が多くなっています(表)。引き続き手洗い等を励行し、感染予防を心がけましょう。

■病原体の特徴

感染性胃腸炎の原因となるウイルスとして、ノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルス、腸管アデノウイルスなどが知られています。最も患者発生が多いのはノロウイルスで、感染すると24時間~48時間の潜伏期間の後、嘔吐、下痢、発熱、腹痛などの症状を呈します。通常、これらの症状は数日で改善しますが、乳幼児や高齢者では、脱水や嘔吐物をのどに詰まらせての窒息などに注意が必要です。また、ロタウイルスでは乳幼児に激しい胃腸炎症状を引き起こす場合があります。下痢や嘔吐を繰り返し、重い脱水症状が数日続くことがあり、合併症としてけいれん、肝機能異常、急性腎不全、脳症、心筋炎などが起こることがあります。

■感染経路

主な感染経路は、病原体が付着した手からの接触感染、汚染食品を食べることによる経口感染です。感染力の強いノロウイルスでは、嘔吐物などが乾いた時にほこりと一緒にウイルスも舞い上がり、それを吸い込むことで感染する場合があります。

■予防対策

- ・トイレの使用後や調理・食事の前には、石けんをよく泡立ててしっかりと手を洗いましょう。
- ・二枚貝などの食品を調理する際には、中心部まで十分に加熱しましょう。
- ・ノロウイルスやロタウイルスでは、アルコールによる消毒効果が低いので、患者の便や嘔吐物の消毒処理は、次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素漂白剤を用いて行いましょう。
- ・重症化しやすいロタウイルスにはワクチンがあります。生後6週から14週6日までに初回接種を受けることが推奨されています。予防接種に関するご相談は、かかりつけの医療機関やお住まいの市町村にお問い合わせください。

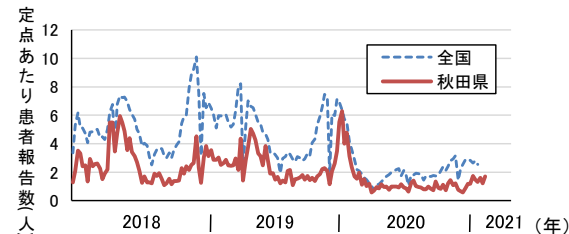


図 感染性胃腸炎の定点あたり患者報告数の推移

表 県内における感染性胃腸炎の集団発生(2021年1月~3月)

発生月	検出病原体	件数
1月	ノロウイルス	2
	未検査・不明	1
2月	ノロウイルス	3
	未検査・不明	1
3月	ノロウイルス	6
	未検査・不明	3

集団事例：社会福祉施設等における10人以上の患者発生報告

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎集団発生4件、かぜ様症状集団発生1件の報告がありました。

種別	所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
				利用者(園児等)	職員	計			
感染性胃腸炎	秋田市	ひかり幼稚園	4/1	88名のうち14名	27名のうち1名	15名	3/22~4/1	嘔吐、下痢、発熱	
	秋田市	わかこま第一保育園	4/1	100名のうち35名	27名のうち5名	40名	3/24~4/2	嘔吐	
	秋田市	こども園あきた風の遊育舎	4/2	203名のうち39名	66名のうち10名	49名	3/29~4/3	嘔吐、下痢、悪心、発熱	/ロウイルス
	大仙市	仙南すこやか園	4/2	165名のうち16名	54名のうち0名	16名	3/29~4/2	嘔吐・下痢	/ロウイルス
かぜ様症状	秋田市	あおぞら幼保連携型認定こども園	4/2	126名のうち17名	48名のうち0名	17名	3/30~4/2	発熱、咳、鼻水	RSウイルス



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報			対象疾患	警報		
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4
手足口病	-	5	2				

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		